

# 日本建築学会北海道支部 2011 年度 第 1 回常議員会議事録

記録：斉藤

日時：平成 23 年 8 月 3 日（水）18:30～19:30

場所：北海道建設会館ビル 地下 1 階 B 会議室

出席：支部長：角

常議員：稲川、関、真境名、本井、山本、横山、大條、後藤、斉藤、田村、前田、渡邊

代議員：岡田、星野

監 事：平尾、串山

事務局：菊地

## I. 配布資料

- |  |         |
|--|---------|
| 1、前回常議員会議事録報告  | 資料 1-1  |
| 2、理事会・支部長会議報告（支部長より）                                       | 資料 1-2  |
| 3、支部経理報告   | 資料 1-3  |
| 4、2010 年度道内工業高校卒業設計巡回展および<br>道内工業高校巡回講演会について               | 資料 1-4  |
| 5、都市計画専門委員会主催シンポジウムについて                                    | 資料 1-5  |
| 6、常議員の役割担当について   | 資料 1-6  |
| 7、第 31 回北海道建築作品発表会スケジュール<br>および規定の改正について                   | 資料 1-7  |
| 8、支部災害調査研究基金事業について   | 資料 1-8  |
| 9、技術士会業務委員会との意見交換会について                                     | 資料 1-9  |
| 10、2012 年度特色ある支部活動の企画募集について                                | 資料 1-10 |
| 11、2012 年度日本建築学会教育賞候補業績の推薦依頼<br>および文化賞候補業績、大賞候補業績の推薦依頼について | 資料 1-11 |
| 12、委員の委嘱について（追加）   | 回覧資料    |
| 13、後援依頼について  | 回覧資料    |

司会：本井

## II 議事内容

- 1 前回（2010 年度第 5 回常議員会）議事録（案）の確認（本井／資料 1-1）

- 2 理事会・支部長会議報告（支部長より）（角／資料 1-2）

### ◇理事会

- ・日本建築学会本部の新体制（和田会長）の紹介。
- ・建築会館（本部）の老朽化が進み、水道管の補修、カフェの改修が予定されている。
- ・会員数の維持について。特に大学院生の修士課程修了後の退会が顕著で継続を促進。
- ・会費納入方法の変更（グループ会員制度の廃止）
- ・総合論文誌の休刊。事実上の廃刊。建築雑誌への組み込みを予定している。
- ・論文集のインパクトファクター化への可能性（各研究者が英文化を進める）について
- ・作品選集の有料化・細分化の可能性について
- ・学会活動の活性化のための 6 基金からの運用について（年度内 1000 万円を上限とする）
- ・一般社団法人化について（平成 24 年 4 月 1 日より）
- ・東日本大震災の報告会（北海道会場は 8 月 9 日（火）ホテルノースシティにて）

## ◇支部長会議

- ・支部出版物の著作権についての確認。原則、執筆者に帰属することを確認した。
- ・支部研の電子投稿システム（ウェブ投稿システム）の今後について。学会本部で集約することは難しい。登録題数が100前後の場合、登録数に対して稼動する本部のシステムの負荷が大きい。各支部で継続して運用する。

### 3 2011年度（4～6月期）決算報告について （菊地／資料1-3）

- ・事務局より当該期間の収支についての報告があり、了承された。

### 4 道内工業高校巡回講演会について （角・山本／資料1-4）

- ・今年度は旭川工業、北見工業の順番であったが、函館工業からも講演会開催の希望があった。
- ・例年、毎年2校の講演に対する講演者の旅費支出を行なってきたが、今年度は特別に1校を加えた3校の希望があった。旅費予算に限りがあるため、総務委員長を交えた検討を行なうこととした。

### 5 都市計画専門委員会主催シンポジウムについて （本井／資料1-5）

- ・資料に基づいて説明があり、了承された（既にシンポジウムは開催済み）。

### 6 常議員の役割担当について （本井／資料1-6）

- ・資料に基づいて説明があり、了承された。

### 7 第31回北海道建築作品発表会スケジュールおよび規定の改正について （本井／資料1-7）

- ・今年度は例年実施している北海道立近代美術館が改装のため、北大学術交流会館で実施する。
- ・資料に基づいて説明があり、「委員会内規」を「委員会規定」にすることで了承された。
- ・なお、規定の4項目を「本委員会は、当支部計画系常設専門委員会の3委員会（建築計画・都市計画・歴史意匠）より選出の専門委員6名以内で構成する。」を、傘下の実行委員会の委員構成を鑑みて「本委員会は、正会員5名前後で構成する」に修正した。

### 8 支部災害調査研究基金事業について （岡田／資料1-8）

- ・申請書（資料1-8）が提出されていて、岡田委員より説明があった。
- ・調査にかかった費用の一部（20万円）と今後の調査費用（アンケート回収のための10万円）の合計30万円を助成する予定とした。なお、助成額の最終決定については総務委員長の確認を得ることです了承された。

### 9 技術士会業務委員会との意見交換会について （後藤／資料1-9）

- ・資料に基づいて説明があった。技術士の資格認知度、社会貢献などについて本学会本支部との情報交換会を希望している旨の報告があった。
- ・平成23年9月13日（火）18時より意見交換会を設けることです了承された。出席予定者は支部長・後藤委員ほか支部常議員・代議員のメンバーの予定。詳細は後日メールにて配信予定。

### 10、2012年度特色ある支部活動の企画募集について （角／資料1-10）

- ・資料に基づいて説明があった。締め切りは9月末。

### 1 1、2012 年度日本建築学会教育賞候補業績の推薦依頼

および文化賞候補業績、大賞候補業績の推薦依頼について

(角/資料 1-11)

- ・ 資料に基づいて推薦依頼の説明があった。
- ・ 教育賞（教育業績）の部門の推薦に、本学会本部環境工学部門および本学会北海道支部環境工学専門委員会の推薦で、荒谷登先生（北海道大学名誉教授）を推薦したい旨の届出があったことが報告され、了承された。

### 1 2、委員の委嘱について

(本井/回覧資料)

- ・ 三角屋根コンクリートブロック住宅の持続可能住居研究委員会の委員追加について了承された。

### 1 3、後援依頼について

(本井/回覧資料)

- ・ 以下 7 件について、本支部の後援を了承した。
  - 1) (社) 日本建築構造技術者協会北海道支部より「2011 年度 JSCA 実務者研修「応用編」
  - 2) 新建築技術者集団北海道支部より「三沢浩建築講演会」
  - 3) 日・中・韓国国際シンポジウム実行委員会より  
「第 5 回日本・中国・韓国国際シンポジウム長寿命建設物のためのコンクリート性能向上 2011」
  - 4) (社) 北海道建築設計事務所協会より「第 36 回北の住まい住宅設計コンペ」
  - 5) 全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会より  
「全国高等学校デザインコンペティション 2011 in 北海道」
  - 6) 「札幌聖ミカエル教会」とアントニオ・レーモンド展北海道実行委員会より  
「札幌聖ミカエル教会」とアントニオ・レーモンド展北海道巡回展
  - 7) (社) 日本コンクリート工学協会北海道支部より  
「コンクリートの日 in HOKKAIDO 出前講座 大学から実務者へ～技術情報の発信と情報交換」

次回日程 平成 23 年 10 月 19 日（水）18：30～ 支部会議室（予定）